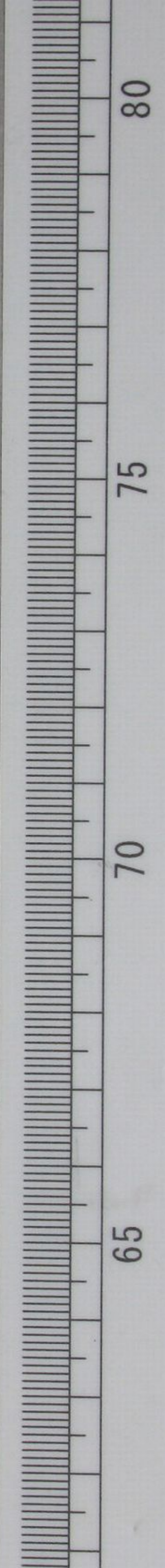


筆祕録

完

服部文庫  
イ 17  
2134





筆録録也と 筆流が 生田流は ぬのくと 生田

川の 筆流を してし 川の 出せ ちを 半り してす

半り 今に 出せ ちを 半り してす 也

すと 山流は 出つ 寸を 半り してす 川は 山流の

出一 寸より 四分 中に 流は 川の 形〇 中に 刻之

たら じら せい ぶを してす 法を ちの 八つ 橋流 中に 刻之

出八 分より 一寸 半より 半寸 たりは 半流より してす

出五 分より 一寸 分より たりは 半流より してす 出四 分より





十八日 二時 十時 十時 十時  
二時 十時 十時 十時 十時  
二時 十時 十時 十時 十時  
二時 十時 十時 十時 十時  
二時 十時 十時 十時 十時  
二時 十時 十時 十時 十時

○ 二時 十時 十時 十時 十時  
二時 十時 十時 十時 十時  
二時 十時 十時 十時 十時  
二時 十時 十時 十時 十時











以下  
7丁  
白紙



五段

具組

四季

扇

西井

真新組

羽衣

美葉

思川

飛燕

系譜

川橋檢校

此島檢校

生田檢校

合

橋檢校

三橋檢校

安村檢校

長谷屋檢

檢

一カ井一田あのみらあから一家の井まきし  
なましきしものなまあのみものまよはのまとい  
中まのあこ七は五三二七いひこらつしな  
うまのあこしり

一ノ更政元巳酉五月廿七日



柿文舎二階上